

PRIMERGY TX150 使用上の注意

このたびは、弊社の PRIMERGY TX150 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本サーバをご使用になる上での注意事項がございますので、本書をよくお読みの上ご使用願います。

平成 16 年 5 月
富士通株式会社

1. Linux について

(1) Red Hat Enterprise Linux ES (v. 3)について

本装置は、Red Hat Enterprise Linux ES (v. 3)をサポートいたします。(2004 年 2 月末)

(2) Red Hat Linux 9 のご使用時における、Hyper-Threading Technology 機能について

本サーバに基本 CPU 変換機構を適用して、Pentium®4 3.06GHz を搭載されている場合、Hyper-Threading Technology 機能をご使用になる事が出来ませんが、OS に Red Hat Linux 9 をご使用の場合、まれにシステムハングアップが発生する場合があります。

Red Hat Linux 9 をご使用のお客様は、BIOS セットアップメニュー(ユーザーズマニュアル p.351)の「Advanced Option」内、「CPU Frequency」内の「Hyper-Threading Technology」の設定値を、「Disabled」に変更してご使用願います。

<Linux サービスバンドルタイプご購入のお客様へ>

Linux サービスバンドルタイプに基本 CPU 変換機構を適用して、Pentium®4 3.06GHz を搭載されている場合、BIOS セットアップメニュー(ユーザーズマニュアル p.351)の「Advanced Option」内、「CPU Frequency」内の「Hyper-Threading Technology」の設定値を、「Disabled」に変更して出荷しております。本設定を、「Disabled」のまま、ご使用願います。

<Red Hat Linux 8.0、Turbolinux 8 Server 及び Red Hat Enterprise Linux ES (v. 3)をご使用のお客様へ>

Red Hat Linux 9 と同様な問題はございませんので、基本 CPU 変換機構を適用して Pentium®4 3.06GHz を搭載されている場合には、Hyper-Threading Technology 機能をご使用になる事が出来ます。BIOS セットアップメニュー(ユーザーズマニュアル p.351)の「Advanced Option」内、「CPU Frequency」内の「Hyper-Threading Technology」の設定値を、「Enabled」に変更する事で、本機能をご使用になる事が出来ます。

2. RemoteControlService について

本装置には IPMI 機能があり、これを使用するには BIOS および Server Management Tools (IPMIview) の設定が必要です。(ServerView V3.50 ユーザーズガイド参照)

本装置をご購入後初めて設定を行なう場合、設定後に装置の電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いていただきますようお願いいたします。設定は、電源ケーブルの挿抜により有効になります。

3. Microsoft Windows Small Business Server 2003 について

本装置は、Microsoft Windows Small Business Server 2003 をサポートしています。(以降、SBS2003 と呼びます。)

SBS2003 を ServerStart を使用してインストールすることはできません。インストールを行なう場合は、下記のインストール手順に従ってインストールされるよう、お願いいたします。

■ 使用するドライバ

使用するドライバは Windows Server 2003 と共通です。

ユーザーズガイドを参照していただきますようお願いいたします。

■ インストール手順

1. SBS2003 の CD-ROM を準備します。

サーバの電源を入れた直後に SBS2003 の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。このとき、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っていないことを確認してください。ハードディスクにアクティブな領域が設定されていると、画面に以下のようなメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD....

この場合、メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、CD-ROM からブートします。

2. 以降は、Windows Server 2003 のインストール手順 4～6 と同様です。

「TX150 ユーザーズガイド」の「4.3.1 Windows Server 2003 のインストール」(→P.149～)を参照してください。

3. メッセージに従って、インストールを続行してください。

4. 再起動し、ログオン後、「Microsoft Windows Small Business Server セットアップ」画面が表示されます。

「Microsoft Windows Small Business Server セットアップ」画面でキャンセルをクリックし、セットアップを中断します。「TX150 ユーザーズガイド」の「4.3.1 Windows Server 2003 のインストール」(→P.149～)を参照し、オンボード LAN のドライバなど、必要なドライバをインストールしてください。

すべてのドライバのインストールが完了したら、デスクトップ上のショートカット「セットアップの続行」をダブルクリックし、インストールを続行してください。

5. 「Microsoft Windows Small Business Server セットアップ」画面で、「次へ」を選択し、画面に従ってインストールを続行してください。

注意

インストール要件について

インストールの要件を満たしていないシステムにインストールを行なった場合、インストール作業中に要件を満たしていない事項について説明が表示されます。表示された説明を参考にし、要件を満たすよう変更を行なってからインストールを継続してください。

6. 各種管理ツールをインストールします。

各種管理ツールのインストール方法については、各種管理ツールのインストール方法を参照してください。

7. 手動インストールでインストールしたドライバが富士通の提供する最新ドライバかどうかの診断を行ないます。

診断方法については、「TX150 ユーザーズガイド」の「5.5.2 最新ドライバの自動適用」(→P.192)を参照してください。

4. PRIMERGY TX150 ユーザーズマニュアルについて

PRIMERGY TX150 に新規モデルが追加されました。

PRIMERGY TX150 ユーザーズガイドに下記の追加事項も合わせてお読みくださるようお願いいたします。

●SCSI タイプ (アレイ)

タイプ		Linux アレイタイプ (36.4GB × 3)	Windows Server 2003 アレイタイプ (36.4GB × 3)	Windows 2000 Server アレイタイプ (36.4GB × 3)
型名		PGT15136L	PGT15136R	PGT15136J
CPU	周波数/2 次キャッシュ	インテル® Pentium® 4 プロセッサ 2.66GHz / 512KB		
	マルチ数	1		
メモリ	標準	256MB (256MB PC2100-DIMM × 1 枚)		
	増設単位	256MB / 512MB / 1GB		
	最大容量	4 スロット 4GB (1GB DIMM × 4 枚)		
ビデオ RAM 容量		VGA チップ: RAGE XL 640 × 480、800 × 600、1024 × 768、1280 × 1024 表示色: 解像度、OS などによって異なる		
5 インチストレージベイ		3 ベイ (標準搭載含む) 種類: CD-ROM (または DVD-ROM: 基本 DVD-ROM 変換機構ご使用時)、 DDS4、内蔵 DAT72 ユニット、内蔵 VXA2 ユニット、光磁気ディスク、SLR60、 SLR100、DDS4 オートローダ		
	標準搭載	48 倍速 CD-ROM ユニット (ATAPI)		
3.5 インチストレージベイ		4 ベイ (標準搭載ハードディスクユニットを含む)		
	標準	SCSI 36.4GB × 3		
	増設単位	36.4GB / 73.4GB / 146.8GB (10000rpm、Ultra320 SCSI)		
	内蔵最大	146.8GB × 4 = 587.2GB		
ディスクアレイ		標準		
PCI スロット		64bit/33MHz (3.3V) × 1、64bit/33MHz (5V) × 3、32bit/33MHz × (5V) × 1		
フロッピーディスクドライブ		3.5 インチ (2 モード 1.44MB / 720KB) 標準搭載		
インターフェース		LAN (Gigabit Ethernet) × 1 (ベースボード標準搭載)、シリアル × 2、 パラレル × 1、キーボード、マウス、モニタ、USB × 3		
キーボード/マウス		標準添付		
外形寸法 横幅×奥行き×高さ (mm)		205 × 600 × 444 (ラックマウント変換機構を使用時: 440 (482 ^{(*)1}) × 562 (597 ^{(*)1}) × 221.2 (5U))		
質量		最大 26kg (ラックマウント変換機構を使用時: 最大 29kg)		
内蔵時計精度		誤差 2~3 分/月		
消費電力		最大 280W (最大 1008kJ/h)		
電源		AC100V (50/60Hz) / 二極接地型		
電源ユニット		1 台		
システムファン		1 個		
エネルギー消費効率 ^{(*)2}		インテル® Pentium® 4 プロセッサ 2.66GHz: J 区分 0.015 インテル® Pentium® 4 プロセッサ 3.06GHz: J 区分 0.011 ^{(*)3}		
サポート OS		Windows Server 2003 Windows 2000 Server Windows NT Server 4.0 SBS 2003 SBS 2000 Red Hat Linux 9 Red Hat Linux 8.0 Red Hat Enterprise Linux ES (v. 3) Turbolinux 8 Server		

^{(*)1} 突起部を含んだ場合

^{(*)2} エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

^{(*)3} インテル® Pentium® 4 プロセッサ 3.06GHz はオプションです。

本サーバの仕様は、改善のため予告なしに変更することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

●Linux タイプ

タイプ		Linux アレイタイプ (36.4GB × 3)	Linux タイプ (80GB × 1)	Linux アレイタイプ (80GB × 2)
型名		PGT15136L2	PGT1513HL2	PGT1513DL2
CPU	周波数/2 次キャッシュ	インテル® Pentium® 4 プロセッサ 2.66GHz / 512KB		
	マルチ数	1		
メモリ	標準	256MB (256MB PC2100-DIMM × 1 枚)		
	増設単位	256MB / 512MB / 1GB		
	最大容量	4 スロット 4GB (1GB DIMM × 4 枚)		
ビデオ RAM 容量		VGA チップ: RAGE XL 640 × 480、800 × 600、1024 × 768、1280 × 1024 表示色: 解像度、OS などによって異なる		
5 インチストレージベイ		3 ベイ (標準搭載含む) 種類: CD-ROM (または DVD-ROM: 基本 DVD-ROM 変換機構ご使用時)、 DDS4、内蔵 DAT72 ユニット、内蔵 VXA2 ユニット、光磁気ディスク、SLR60、 SLR100、DDS4 オートローダ		
	標準搭載	48 倍速 CD-ROM ユニット (ATAPI)		
3.5 インチストレージベイ		4 ベイ (標準搭載ハードディスクユニットを含む)		
	標準	SCSI 36.4GB × 3	IDE 80.0GB × 1	IDE 80.0GB × 2
	増設単位	36.4GB / 73.4GB / 146.8GB (10000rpm、 Ultra320 SCSI)	80.0GB/120.0GB (7200rpm,EIDE)	
	内蔵最大	146.8GB × 4 = 587.2GB	120.0GB × 2 = 240.0GB	
ディスクアレイ		標準	-	標準
PCI スロット		64bit/33MHz (3.3V) × 1、64bit/33MHz (5V) × 3、32bit/33MHz × (5V) × 1		
フロッピーディスクドライブ		3.5 インチ (2 モード 1.44MB / 720KB) 標準搭載		
インターフェース		LAN (Gigabit Ethernet) × 1 (ベースボード標準搭載)、シリアル × 2、 パラレル × 1、キーボード、マウス、モニタ、USB × 3		
キーボード/マウス		標準添付		
外形寸法 横幅×奥行き×高さ (mm)		205 × 600 × 444 (ラックマウント変換機構を使用時: 440 (482 ⁽¹⁾) × 562 (597 ⁽¹⁾) × 221.2 (5U))		
質量		最大 26kg (ラックマウント変換機構を使用時: 最大 29kg)		
内蔵時計精度		誤差 2~3 分/月		
消費電力		最大 280W (最大 1008kJ/h)		
電源		AC100V (50/60Hz) / 二極接地型		
電源ユニット		1 台		
システムファン		1 個		
エネルギー消費効率 ⁽²⁾		インテル® Pentium® 4 プロセッサ 2.66GHz: J 区分 0.015 インテル® Pentium® 4 プロセッサ 3.06GHz: J 区分 0.011 ⁽³⁾		
サポート OS		Red Hat Enterprise Linux ES (v. 3)		

⁽¹⁾ 突起部を含んだ場合

⁽²⁾ エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

⁽³⁾ インテル® Pentium® 4 プロセッサ 3.06GHz はオプションです。

本サーバの仕様は、改善のため予告なしに変更することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

5. 内蔵光磁気ディスクユニット (PG-PD240B/PGBPD240B) のサポート追加について
5 インチ内蔵オプションに内蔵光磁気ディスクユニット (PG-PD240B / PGBPD240B) が追加になりました。
マニュアル内の内蔵光磁気ディスクユニット (PG-PD240 / PGBPD240) の記述を、
PG-PD240B/PGBPD240B に読み替え願います。